

クラス道徳

「カラカラカラ」



あらすじ

達也は、伸一・登と電車で科学館に出かけました。電車に乗ると、空き缶が置きっぱなしにされています。捨てに行こうか迷う達也ですが、伸一に「またいい子の達也か。」と言われ、そのままにしてしまいます。やがて、空き缶はカラカラカラと音を立てて転がり始めます。達也は気になりつつも、伸一や登、周囲の人の反応を気にして捨てることができません。しかし、ある男の人の足元に空き缶が転がっていくと、男の人はすっと手を伸ばして空き缶を拾い、下車時にホームのごみ箱に捨てました。達也は、その男の人の背中をいつまでも見つめているのです。

男の人の背中をいつまでも目で追いかけていた達也は、どんなことを考えているのだろうか？



周りの人に流されずに行動することは大切なこと！！

わかっているけど、いざ、その時になってみると・・・

「またいい子の達也か？」

達也の行動が大きく変わってしまう・・・

そして、心のモヤモヤまで表れてしまう



人間としての基本は、自分で考え、

自分で行動し、自分で責任を取ることにある。

(元イギリス首相 マーガレット・サッチャー)

もしも、あなたが達也なら、どのような行動をとるだろうか？

2年生、みんなの感想

- 人が言ったことに対して、気持ちや行動が変わってしまうことを分かりました。(Oくん)
- 自分をはじめとろうとしていたけど、友達の何気ない一言で変わってしまうんだなぁと思いました。(Nさん)
- 自分が正しいことをしようとしても周りから言われると、やろうとする気持ちがなくなってしまふのは分かるかなと思いました。でも、男の人は周りで見られていても自分から進んで行動するのはすごいなと思いました。(Nさん)
- 達也はついつい友達に流されてしまうから、そうではなく、自らの考えをしっかりともち、それを突き通せるような心をもつべきだろうと思う。しっかりとだめだと思えているなら、一歩踏み出す勇気をもてばいけると思う。(Nさん)
- 周りに流されなかったら…せっかくいいことをしようとしたのに…自分の意志で行動するのはやっぱり大事だと思う。でも、友達の意志を聞くのも大事だと思うから、これはどうやる?って考えて行動するのいいと思う。(Rさん)
- 伸一のあの一言で、達也が空き缶を捨てなかったのは本当に情けないと思いました。男の人は人のゴミでも拾ってくれたから達也は間違っただけのことや後悔していると思いました。人に左右されるのではなく、自分が正しいことをしているのだから自分の行動を優先した方がいいと思いました。(Iさん)
- 自分の意見を最後まで貫くことも必要だけど、時には周りの意見を取り入れて、自分の意見を合わせる事も大事だと思う。周りに流されて後悔するくらいなら、自分の意見を貫き通して後悔した方がましだと思う。(Nくん)
- 私も友達に何か言われそうで、空き缶が目の前にあっても拾えないと思います。友達の一言で自分もしようとしている行動ができなくなるのはイヤだから、そんなこと言われても、しっかり自分の意志を行動にうつせる人になりたいです。(Uさん)
- 「周りに流されずに、行動すること」は大切だなと思いました。どんなことを言われても、正しい行動をした方がいいと思いました。自分も、自分らしい行動をしたいと思いました。(Yさん)
- 私も、男の人みたいに、当たり前のように自分が正しいと思った行動をしようと思った。人の言葉の言いなりにならず、自分が思っていることを相手に伝えるのも大切だなと思いました。(Kさん)
- 人の言葉一言で、行動や意見が変わって周りに流されるような人にはならないようにしなければならぬと思った。この話のように行動まで変えてしまつて、後で後悔するより自分の意見を大切にするのがいいと感じた。(Iさん)
- 僕は、初めは拾わないでいいと思っていたけど、今は友達や周りの人に「どうでもいいやん。」と言われても、自分が思ったことをしっかり行動していかないといけないと思った。今は、近くにゴミ箱があれば拾うと思う。(Kくん)
- 私は、達也は人のことばかり気にして自分の意見を言えてないのがダメなところだと思いました。達也は最後あんなカッコイイ大人になりたいと思ったと思いました。人に流されることは一番よくないし、しっかり自分の意志を言うことも大切だなと思いました。(Hさん)
- 自ら考えて行動をするのは、未来が大きく変わったりする。他の意見に流されずに自分の意志を貫き通せる。とても大事なことだと思いました。
伸一がガムの包み紙を捨てた時、黙って見ていたあの目と、最後、男の人を黙って見る目は全然違う。(Aさん)